

2024年2月7日

新型 BMW 5 シリーズ ツーリング誕生

日本初となるステーション・ワゴン・タイプの電気自動車を導入

BMW 5 シリーズ ツーリング初: クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデルに 48V マイルド・ハイブリッド・システムおよび 4 輪駆動システム BMW xDrive を搭載

新時代のプレミアム・ツーリングに相応しいスタイリッシュなデザインへの進化に加え、走り、デジタル機能も大幅に強化

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：長谷川正敏）は、プレミアム・セグメントにおけるミドル・クラス・ツーリング「BMW 5 シリーズ ツーリング」の新型モデル（全面改良）を、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。納車は、本年第三四半期以降を、予定している。

1972 年に初代モデルが誕生した BMW 5 シリーズは、プレミアム・ミドル・セグメントにおけるモデルであり、今回発表の新型 BMW 5 シリーズ ツーリングは、2023 年 7 月発表の BMW 5 シリーズ セダン同様に、BMW 伝統のデザインを踏襲しつつ、コンセプトを一新し、格式のある存在感とエレガントさを同時に高めている。走行性能面では、ステーション・ワゴン・タイプのボディとして日本初、また、BMW のツーリング・モデルとして初となる、電気のみで走行する電気自動車 BMW i5 ツーリングを量販モデル、M パフォーマンス・モデルの 2 モデルを同時にラインアップする。さらに、新型 BMW 5 シリーズ ツーリングにおいて初となる 48V マイルド・ハイブリッド・システムを、ディーゼル・エンジン搭載モデルに採用する等、パワートレインを充実させている。更に、先進のデジタル技術で、高い安心、安全、快適な機能を提供し、ビジネス・シーンのみならず、スポーツやレジャーといったあらゆるシーンにおいて、すべての望みを多彩な才能で実現する。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル（48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載）	
BMW 523d Touring xDrive Exclusive	8,900,000 円
BMW 523d Touring xDrive M Sport	9,600,000 円
電気自動車	
BMW i5 Touring eDrive40 Excellence	10,400,000 円
BMW i5 Touring eDrive40 M Sport	10,400,000 円
BMW i5 Touring M60 xDrive	16,000,000 円

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。
- 右ハンドル、AT 仕様。

新型 BMW 5 シリーズ ツーリングは、日本においては、BMW 社が初めて国土交通省からの認可を取得した、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能なドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システム「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」の搭載等、最先端の運転支援システムに加え、最新世代のコネクティビティも有し、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay への対応、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、利便性が大幅に高められたモデルである。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。なお、新型 BMW 5 シリーズ ツーリングは、先代モデル同様に、ドイツのディンゴルフィンク工場において、生産が行なわれる。

多様なライフスタイルに対応する実用的なラゲッジ・ルーム

新型 BMW 5 シリーズ ツーリングには、様々なニーズに対応可能な、多才で機能的、かつ、広々としたラゲッジ・ルームを採用している。ラゲッジ・ルーム容量は 570L を実現し、リヤ・シートのバックレストを倒せば最大で 1,700L まで拡張することが可能である。40:20:40 分割可倒式リヤ・シート、ラゲッジ・ルーム下に小物を収納できる床下収納、リヤ・シートを完全に折りたたんだ状態でも荷室が使用でき、かつ、前席乗員の安全が確保されるラゲージ・パーティション・ネットが標準で装備される。

デザイン

新しいデザイン言語により、新型 BMW 5 シリーズ ツーリングは、スポーティさに加え、エレガンスとセダンらしい格式のある存在感を強調している。

フロント・デザインは、現代的な解釈によるツイン・ヘッドライトと BMW 伝統のキドニーグリルを垂直方向に拡大し、やや前方に突き出したシャーク・ノーズ&ロング・ボンネットが特徴的である。ほぼ垂直に配置された LED はデイライト・ライニングおよびウィンカーとして機能する。キドニーグリルには、夜間走行時に BMW ブランドの象徴である造形を印象的にライトアップする BMW アイコニック・グローを備えている。

サイド・デザインにおいては、高いショルダー・ライン、金属を削り出したような塊感のある力強くデザインされたドア・パネルおよびフェンダーの造形、正確にトレースされた 2 本のキャラクター・ラインが、プレミアムな佇まいを醸し出している。ツーリング・モデルのキャラクターを表す D ピラー部を大胆にスラントさせスタイリッシュ感を高めると同時に、サイド・ウィンドー下部を大胆にキックアップしてリヤ・フェンダーの力感を強調することで躍動感を表現し、ツーリング・モデルでありながら BMW らしいスポーティかつエレガントな独自のデザインを実現している。

リヤ・デザインにおいては、リヤ・ガラスをより立体的な造形とし、D ピラーから続くスタイリッシュ感を強化している。ツーリング専用デザインのリヤ・コンビネーション・ライトは低い位置に配置され、ワイド感とスポーティ感を高めている。

インテリアにおいては、BMW 特有の駆けぬける喜びを感じられ、長距離走行においては、高次元の快適性を提供するデザイン・エレメントが採用されている。広々としたスペース、随所に取り入れられたモダンな機能、高次元のオーディオ性能、高品質で精密に加工された素材、素晴らしい完成度、高度なデジタル・サービスがインテリアの雰囲気を特徴づけている。

新型 BMW 5 シリーズ ツーリングの運転席は、先代モデルに比べてボタン類が大幅に削減され、無駄を省いた洗練された印象を与えている。BMW カーブド・ディスプレイは、最新の 12.3 インチのインフォメーショ

ン・ディスプレイと 14.9 インチのコントロール・ディスプレイで構成されている。インストルメント・パネル中央からドア・トリムを立体的なクリスタル面が貫く BMW インタラクション・バーを標準装備し、ドライバーの好みの走行モードに応じて室内空間をアーティステックに演出する。ステアリング・ホイールも再設計され、下部セクションが平らになり、ステアリング周りに空間を与え、コントロール・パネルとセンター・コンソールのセクター・レバーには、操作時のフィードバックが追加されている。新型 BMW 5 シリーズは、シート、ダッシュボード、ドア・パネルの表面に加え、ステアリング・ホイールを、地球環境に配慮し、植物を主原料とした持続可能な素材で、上質なレザーと同等の柔らかさと風合い、耐久性を実現したビークル・インテリア仕様を一部モデルに標準装備とした。

パワートレイン

新型 BMW 5 シリーズ ツーリングには、大幅に進化を遂げた第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーが搭載された電気自動車 BMW i5 がラインアップされ、電気自動車において 2 つのバリエーションがあり、さらに、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデルがある。

BMW i5 Touring M60 xDrive

BMW i5 Touring M60 xDrive (エムロクマル・エックスドライブ) は、最高出力 261PS (192kW) *を發揮する 1 つの電気モーターが前輪に、最高出力 340PS (250kW) *を發揮する 1 つの電気モーターが後輪にある、4 輪駆動モデルの M パフォーマンス・モデルである。システム・トータルでの最高出力は 601PS (442kW) *、最大トルクは 795Nm*であり、M スポーツ・ブーストまたは M ロンチ・コントロール機能が作動している場合、0-100km/h を僅か 3.9 秒*で駆けぬける。ボディ床下に収納されているリチウム・イオン電池の総エネルギー量は 83.9kWh*であり、一充電での走行可能距離は 445km - 506km*である。

BMW i5 Touring eDrive40

BMW i5 Touring eDrive40 (イードライブヨンマル) は、最高出力 340PS (250kW) *を發揮する電気モーターにて後輪を駆動する BMW 伝統の後輪駆動モデルである。最大トルクは 400Nm*であり、スポーツ・ブーストまたはロンチ・コントロール機能が作動している場合、0-100km/h を僅か 6.1 秒*で駆けぬける。ボディ床下に収納されているリチウム・イオン電池の総エネルギー量は 83.9kWh*であり、一充電での走行可能距離は 483km - 560km*である。

BMW 523d Touring xDrive

BMW グループが誇る EfficientDynamics エンジンの新世代モジュール式高効率 2L 直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ディーゼル・エンジンを搭載する BMW 523d Touring xDrive は、ピストンの軽量化等の改善に加え、低速側を可変ウィングとしたシーケンシャル・ツイン・ターボの電子制御精度を向上させた上で、48Vマイルド・ハイブリッド・システムが組み合わせられ、システム・トータル最高出力 197PS (145kW) *、システム・トータル最大トルク 400Nm*を發揮する。

*: 欧州仕様値

ドライビング・ダイナミクス

ダイナミックな走行性能、あらゆる運転状況における抜群の安定性、高精度なハンドリング性能、優れた乗り心地、世界最高のドライビング・ダイナミクスの実現を目指し、ロング・ホイールベース、フロント・アクスルとリア・アクスルのトレッド幅の拡大、ほぼ完璧にバランスの取れた 50:50 の前後重量配分、インテリジェントな軽量構造、ボディとシャシーの接続剛性の向上等に加え、新型 BMW 5 シリーズには、様々な最先端シャシー・テクノロジーを採用している。

広範囲に進歩したシャシー制御技術は、モデル・バリエーション毎に、最適化されている。センシングと同時に最短時間で直接制御されるホイール・スリップ・テクノロジー、統合ブレーキ・システム、可変ステアリング・レシオを備えたスポーツ・ステアリングが全車標準装備され、4輪操舵を可能とするインテグレートッド・アクティブ・ステアリングと電子制御のショック・アブソーバーを備えたアダプティブ・サスペンションがBMW i5 Touring に標準装備、BMW 523d Touring xDrive にオプション設定されている。Mパフォーマンス・モデルBMW i5 M60 xDrive には、更にアクティブ・ロール・コントロール機能を備えた電子制御スタビライザーを含むアダプティブ M サスペンション・プロフェッショナルを標準装備し、ダイナミックな走行性能と快適な乗り心地とを極めて高い次元で両立することで、電気自動車の特性を最大限に活かした新時代の「駆けぬける歓び」を実現している。

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路^{*1}での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能^{*2}となる。

*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

*2: SAE International (Society of Automotive Engineers) が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」、完全自動駐車が可能となる「パーキング・アシスト・プロフェッショナル」を標準装備

高性能カメラ&レーダー、および高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

標準装備となるパーキング・アシスト・プロフェッショナルには、時速 35km 以下で車両が直前に前進したルート最大 200m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト・プロフェッショナル機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

さらに、新型 BMW 5 シリーズには、駐車時に、ステアリング、アクセル、ブレーキ操作が一切不要なマニユーマー・アシスト（駐車経路自動誘導機能）が、標準装備となる。自宅駐車場、勤務先駐車場を車両に登録しておくことで、駐車スペースが近づくと、車両が自動で検知し、検知後は、完全自動駐車が可能となる。駐車場所の記録は最大 10 ヲ所の登録が可能であり、最大 200m までの駐車操作（合計 600m まで）を記録できる為、狭いスペースで複雑な切り替えしが必要な場合でも正確に再現することが可能である。

また、駐車スペースの幅が狭い場合はドライバーが下車し、車外よりスマートフォンでコントロールすることができる「リモート・パーキング」機能によりスマートかつ快適に駐車操作を行うことも可能である。

車両全方向に対応した BMW ドライブ・レコーダー

新型 BMW 5 シリーズ ツーリングには、車載カメラを使用した全方向(前後&左右)記録可能な BMW ドライブ・レコーダーを標準装備している。後付けのドライブ・レコーダーと異なり、車両後方の映像もウィンド

一越しではなく直接撮影するので、あおり運転等の危険運転車両と遭遇した際に、車両のナンバーも鮮明に記録すると同時に、サイドのカメラで幅寄せの映像記録にも対応する。また、前方カメラを使ってドライビング中に前方の美しい景色を記録することも可能である。

車両の異常をスマートフォンに知らせるアラーム・システム

車両の盗難や車上荒らし等の被害を事前に防止するアラーム・システムを標準装備している。車両がロック中に異常を検知した場合、登録されているスマートフォンに通知を行うと同時に、車両周辺および車両室内の映像もスマートフォン上で確認することが可能である。

最新の BMW iDrive および BMW オペレーティング・システム 8.5

進化した BMW カーブド・ディスプレイと「QuickSelect」機能を備えた制御システムも、新型 BMW 5 シリーズ ツーリングの特徴の 1 つである。BMW オペレーティング・システム 8.5 をベースにしており、運転席側に機能アイコンを縦に並べた再設計されたホーム画面を備えている。「QuickSelect」機能により、サブ・メニューに切り替えることなく機能に直接アクセスできるため、メニュー構造が大幅に改良され、操作しやすくしている。新しい BMW iDrive は、BMW カーブド・ディスプレイおよび BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントとも組み合わせられ、一貫して、タッチ・ディスプレイと言語で操作できるように設計されている。

さらに、最新の BMW オペレーティング・システム 8.5 により、新型 BMW 5 シリーズで初めて導入された AirConsole プラットフォームを、新型 BMW 5 シリーズ ツーリングにも導入し、革新的な車内ゲームの使用*を可能にしている。ドライバーと同乗者は、車両が停止している際、スマートフォンをコントローラーとして、14.9 インチのセンター・ディスプレイを使用しての対戦型ゲームをプレイすることが可能である。

*: パーソナル eSIM または BMW Bluetooth SIM カードリーダーを使用した 5G データ通信でのみ利用可能です。パーソナル eSIM での接続には株式会社 NTT ドコモの「ワンナンバーサービス」対象料金プランへの契約が必要です。BMW Bluetooth SIM カードリーダーを使用する場合は、別途データ通信用 SIM カードの契約が必要です。

コネクティビティ

コネクティビティにおいても優位性は高く、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay や Spotify への対応、BMW コネクテッド・ドライブ標準装備により、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、大きな利便性がある。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携行していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導

入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

BMW Intelligent Personal Assistant (インテリジェント・パーソナル・アシスタント)

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW (オーケー・ビー・エム・ダブリュー)」だけでなく、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

3 年間の主要メンテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス

3 年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016 年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

主な車両諸元

- BMW 523d Touring xDrive
全長 5,060mm、全幅 1,900mm、全高 1,515mm、ホイールベース 2,995mm、排気量 1,995cc、直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、システム・トータル最高出力 197PS (145kW)、システム・トータル最大トルク 400Nm。
- BMW i5 Touring eDrive40
全長 5,060mm、全幅 1,900mm、全高 1,515mm、ホイールベース 2,995mm、最高出力 340PS/250kW、最大トルク 400Nm、リチウム・イオン・バッテリー容量 83.9kWh、一充電での走行可能距離 483-560km。
- BMW i5 Touring M60 xDrive
全長 5,060mm、全幅 1,900mm、全高 1,505mm、ホイールベース 2,995mm、最高出力 601PS/442kW、最大トルク 795Nm、リチウム・イオン・バッテリー容量 83.9kWh、一充電での走行可能距離 445km - 506km。

上記の数値は、すべて、欧州仕様値となります。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>